

「甲府市協働のまちづくり第4期推進行動計画（素案）」に対する意見と市の考え方について

No.	意見	市の考え方
1	<p>私が住む地域では、地域住民の交流と親睦を図る「ふれあいの集い」をはじめ、河川敷の草刈りやごみ拾いなどの美化活動、一人暮らしの高齢者や小学生の下校時における見守り活動など、様々な活動が行われています。</p> <p>しかしながら、少子・高齢社会の進行に加え、価値観の多様化やライフスタイルの変化等により、地域活動の担い手の確保は大きな課題となっており、今後、これらの活動を継続していくことに不安を感じております。</p> <p>このため、他の地域における担い手確保の取組事例などについて、市が積極的に情報発信を行い、地域が自らの活動の参考とできるような仕組みを取り入れていただきたい。</p>	<p>他地域の担い手確保の取組事例などの情報発信については、事業Ⅱ-1-(1)の「市民活動団体の情報収集と情報発信」において、自治会と「あつ活サポーター団体」等の多様な主体との協働による取組事例を情報収集し、市ホームページや協働支援センター情報紙「あつ活NEWS!」に掲載し、広く周知することにより、地域主体の取組を促進してまいります。</p> <p>また、事業Ⅱ-1-(2)の「情報交換の場（プラットフォーム）の充実」において、「あつ活サポーター団体」と自治会との交流の場を設け、地域の実情や抱える課題等について意見交換し、多様な主体による課題解決策の検討や新たな連携を創出するなど、地域活動の活性化につなげてまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>新型コロナウイルス感染症の流行以降、多くの自治会は、長らく活動の中止や縮小を余儀なくされてきました。かつて行われていた行事や活動が途絶えたことで、住民同士の「顔が見える関係」が希薄化し、これまでと同じように自治会活動を展開することが困難になっているとの声もあります。</p> <p>今後も自治会活動を展開していくなかで、活動の担い手の確保が重要であるため、第4期推進行動計画では、自治会活動の担い手確保に直結する施策を実施すべきと考えます。</p>	<p>自治会活動の担い手の確保については、事業Ⅲ-1-(1)の「大学・学生・企業との連携促進」において、社会貢献活動に取り組む企業や学生ボランティア団体に「あつ活サポーター団体」への登録を働きかけ、支援の受け皿となる団体の拡充を図るなか、自治会活動の担い手として参画できるよう支援してまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>